

大深度トンネル技術検討委員会の概要

大深度トンネルを活用した道路計画の技術的課題について検討。大深度法の適用可能性、事故時の避難方法、換気方式、地下水への影響、耐震性等について検討。

- ▼第1回委員会 平成17年11月
- ▼第2回委員会 平成17年12月
- ▼第3回委員会 平成18年 3月



大深度トンネル技術検討委員会委員名簿 (委員は五十音順)

委員長	今田 徹	東京都立大学名誉教授
委員	大島 洋志	国際応用地質学会副会長
委員	川端 信義	国立大学法人福井大学工学部機械工学科教授
委員	小泉 淳	早稲田大学理工学部社会環境工学科教授
委員	小山 幸則	(財)地域地盤環境研究所東京事務所所長
委員	真下 英人	独立行政法人土木研究所基礎道路技術研究グループ上席研究員
委員	水谷 敏則	(財)先端建設技術センター専務理事
委員	水野 明哲	工学院大学工学部機械工学科教授

■主な検討項目

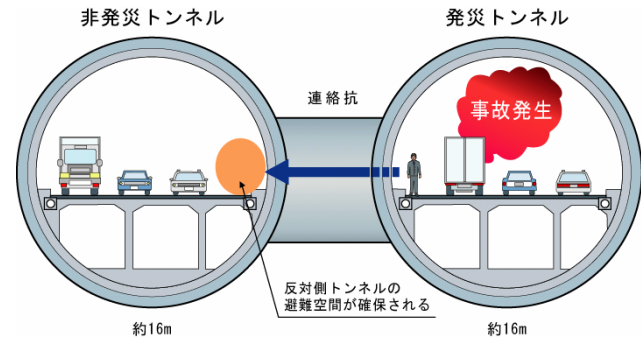
- ◎大断面シールド掘削技術
- ◎大深度法適用に係る検討
- ◎換気方式
- ◎地中拡幅工法
- ◎避難方法
- ◎シールド工法の合理化
- ◎救急・消火支援施設

避難方式(イメージ)

避難方式は、連絡坑方式と床板下方式のいずれも可能であるが、安全性、経済性の観点から設置間隔などについても今後詳細に検討していく必要がある。

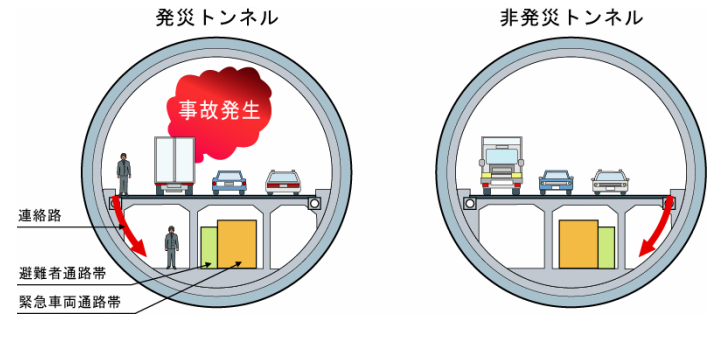
連絡坑方式

発災トンネルから非発災トンネルへ、連絡坑を利用して避難する。



床板下方式

発災トンネル内の床板下へ、すべり台を利用して避難する。



本線と連結路の分合流部(イメージ)

